



平成24年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成24年2月9日

上場取引所 東大

上場会社名 ロート製薬株式会社

コード番号 4527 URL <http://www.rohto.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 吉野 俊昭

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 経営企画本部長 (氏名) 斉藤 雅也

TEL 06-6758-1211

四半期報告書提出予定日 平成24年2月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	87,541	5.1	11,195	11.0	11,378	8.9	7,015	5.9
23年3月期第3四半期	83,255	0.7	10,085	10.1	10,445	10.3	6,628	17.5

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 5,266百万円 (9.7%) 23年3月期第3四半期 4,801百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	59.67	59.41
23年3月期第3四半期	56.37	56.12

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	128,684	81,396	62.6
23年3月期	126,472	77,911	60.9

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 80,523百万円 23年3月期 77,076百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期		7.00		8.00	15.00
24年3月期		8.00			
24年3月期(予想)				8.00	16.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	117,000	1.3	13,300	1.5	13,500	1.6	8,200	2.9	69.73

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期3Q	117,919,596 株	23年3月期	117,907,528 株
期末自己株式数	24年3月期3Q	330,505 株	23年3月期	329,159 株
期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期3Q	117,585,088 株	23年3月期3Q	117,583,251 株

四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P2「(3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

添付資料の目次

1 . 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2 . サマリー情報(その他)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3 . 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間のわが国経済は、東日本大震災による企業活動や消費マインドの低下に緩やかな持ち直しの動きがみられたものの、急激な円高の進行等の影響により、先行きの景況感が極めて不透明な状況が続いております。また、海外におきましては、中国や新興国の景気拡大に牽引され、緩やかながらも回復傾向が続いたものの、欧州における財政危機の影響や、米国での失業率の高止まりなどにより、経済の回復は停滞した状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループは顧客志向の新製品開発やマーケティング活動により新規分野への展開を図るとともに、既存分野におきましても高付加価値の製品を開発し市場の活性化に努めてまいりました。

売上高につきましては、日本では、消費者がより費用対効果を重視する購買行動に変化したことにより、オールインワンゲルタイプの新製品「極潤パーフェクトゲル」や「肌研ヒアルロンBB」「肌研ヒアルロンUV」等が好調であったことを受け、「肌研(ハダラボ)」が順調に推移しております。また、頭皮湿疹に着目した新製品の「メンソレータム メディクイックH」や高付加価値型目薬の「ロートゴールド40」等が好調に推移し増収となりました。

海外では、欧米は景気の低迷及び円高による為替換算の影響もあり減収となりましたが、成長の牽引役でありますアジアにおきましては、中国をはじめアジアへの積極展開を進めている「肌研(ハダラボ)」や男性用化粧品「Mentholatum Men」、日焼け止め「サンブレイ」、リップケアなどのスキンケア関連が好調に推移し、大幅な増収となりました。

その結果、売上高は875億4千1百万円(前年同期比 5.1%増)となりました。

利益面につきましては、売上が堅調に推移したことに加え、販売費及び一般管理費の効率的活用にも努めました結果、営業利益は111億9千5百万円(同 11.0%増)、経常利益は113億7千8百万円(同 8.9%増)、四半期純利益は70億1千5百万円(同 5.9%増)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末における資産総額は1,286億8千4百万円となり、前連結会計年度末より22億1千1百万円増加しました。これは、受取手形及び売掛金が35億2千3百万円、投資有価証券が15億8千4百万円減少した一方、有形固定資産が35億3千9百万円、商品及び製品が11億3千6百万円、流動資産のその他が11億4千3百万円、原材料及び貯蔵品が10億7千4百万円増加したこと等によるものであります。

負債総額は472億8千7百万円となり、前連結会計年度末より12億7千3百万円減少しました。これは、支払手形及び買掛金が20億5千7百万円、短期借入金が13億6千9百万円増加した一方、未払法人税等が16億1百万円、未払費用が15億9千5百万円、賞与引当金が10億3千1百万円減少したこと等によるものであります。

また、純資産につきましては813億9千6百万円となり、前連結会計年度末より34億8千5百万円増加しました。これは、為替換算調整勘定が9億4千7百万円、その他有価証券評価差額金が7億7千4百万円減少した一方、利益剰余金が51億3千4百万円増加したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

今後の世界経済は一部には回復の動きが見られますものの、引き続き深刻な状況にあり、国内におきましても、円高の影響が懸念されるなど、依然として先行き厳しい状況が見込まれます。

当社グループを取り巻く事業環境につきましても、今後も厳しい状況が継続すると考えられますが、当第3四半期連結累計期間につきましては、ほぼ計画に沿った業績で推移しているため、平成23年5月11日に公表いたしました連結業績予想は修正しておりません。

上記の予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	14,106	14,111
受取手形及び売掛金	29,859	26,336
有価証券	5	-
商品及び製品	10,133	11,269
仕掛品	926	1,152
原材料及び貯蔵品	5,277	6,352
その他	4,932	6,075
貸倒引当金	137	132
流動資産合計	65,102	65,164
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	17,029	18,889
機械装置及び運搬具(純額)	6,795	9,776
その他(純額)	15,602	14,300
有形固定資産合計	39,427	42,967
無形固定資産		
のれん	1,150	1,005
その他	1,342	1,229
無形固定資産合計	2,492	2,235
投資その他の資産		
投資有価証券	15,345	13,760
その他	4,176	4,664
貸倒引当金	72	107
投資その他の資産合計	19,449	18,317
固定資産合計	61,370	63,519
資産合計	126,472	128,684
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,121	11,179
短期借入金	3,199	4,568
未払費用	14,886	13,290
未払法人税等	3,587	1,986
賞与引当金	1,885	853
役員賞与引当金	24	22
返品調整引当金	831	764
売上割戻引当金	2,437	2,185
その他	5,770	5,316
流動負債合計	41,743	40,165

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
固定負債		
長期借入金	2,716	3,625
退職給付引当金	1,411	1,420
役員退職慰労引当金	101	67
その他	2,587	2,009
固定負債合計	6,817	7,122
負債合計	48,561	47,287
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,398	6,405
資本剰余金	5,517	5,524
利益剰余金	67,511	72,646
自己株式	268	269
株主資本合計	79,159	84,307
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,179	2,404
為替換算調整勘定	4,953	5,900
在外子会社の年金債務調整額	309	286
その他の包括利益累計額合計	2,083	3,783
新株予約権	593	579
少数株主持分	241	293
純資産合計	77,911	81,396
負債純資産合計	126,472	128,684

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	83,255	87,541
売上原価	34,327	36,216
売上総利益	48,928	51,324
返品調整引当金繰入額	157	-
返品調整引当金戻入額	-	67
差引売上総利益	48,771	51,392
販売費及び一般管理費	38,685	40,196
営業利益	10,085	11,195
営業外収益		
受取利息	47	64
受取配当金	401	378
持分法による投資利益	135	34
その他	109	126
営業外収益合計	693	604
営業外費用		
支払利息	223	168
為替差損	-	133
その他	110	118
営業外費用合計	333	420
経常利益	10,445	11,378
特別利益		
投資有価証券売却益	693	202
特許関連収入	-	281
特別利益合計	693	484
特別損失		
固定資産売却損	129	-
投資有価証券売却損	56	-
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	30	-
貸倒引当金繰入額	-	35
特別損失合計	217	35
税金等調整前四半期純利益	10,921	11,828
法人税等	4,304	4,829
少数株主損益調整前四半期純利益	6,616	6,998
少数株主損失()	11	17
四半期純利益	6,628	7,015

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	6,616	6,998
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,260	776
為替換算調整勘定	586	979
在外子会社の年金債務調整額	31	22
持分法適用会社に対する持分相当額	0	1
その他の包括利益合計	1,815	1,732
四半期包括利益	4,801	5,266
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,813	5,316
少数株主に係る四半期包括利益	12	49

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

前第3四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント (注) 1					その他 (注) 2	合計	調整額 (注) 3	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 4
	日本	アメリカ	ヨーロッパ	アジア	計				
売上高									
(1) 外部顧客に 対する売上高	61,817	4,571	3,033	12,925	82,348	907	83,255		83,255
(2) セグメント間の 内部売上高 又は振替高	1,031	399		928	2,360		2,360	2,360	
計	62,849	4,971	3,033	13,854	84,708	907	85,616	2,360	83,255
セグメント利益 又は損失()	8,789	229	116	1,424	10,101	18	10,119	34	10,085

- (注) 1 「アメリカ」の区分は米国、カナダ等の現地法人の事業活動、「ヨーロッパ」の区分は英国、南アフリカの現地法人の事業活動、「アジア」の区分は中国、台湾、ベトナム等の現地法人の事業活動を含んでいます。
- 2 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、オーストラリアの現地法人の事業活動を含んでいます。
- 3 セグメント利益又は損失()の調整額 34百万円は、全額がセグメント間取引消去であります。
- 4 セグメント利益又は損失()は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント (注) 1					その他 (注) 2	合計	調整額 (注) 3	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 4
	日本	アメリカ	ヨーロッパ	アジア	計				
売上高									
(1) 外部顧客に 対する売上高	63,764	4,012	3,004	15,705	86,487	1,053	87,541		87,541
(2) セグメント間の 内部売上高 又は振替高	1,120	874	2	1,243	3,240	13	3,253	3,253	
計	64,884	4,886	3,006	16,949	89,727	1,067	90,795	3,253	87,541
セグメント利益	8,981	222	80	1,748	11,033	56	11,090	104	11,195

- (注) 1 「アメリカ」の区分は米国、カナダ等の現地法人の事業活動、「ヨーロッパ」の区分は英国、南アフリカの現地法人の事業活動、「アジア」の区分は中国、台湾、ベトナム等の現地法人の事業活動を含んでいます。
- 2 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、オーストラリアの現地法人の事業活動を含んでいます。
- 3 セグメント利益の調整額104百万円は、全額がセグメント間取引消去であります。
- 4 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。